201　仏堂

# 不動院　金堂　　一棟

室町時代(1540 年)

三間×四間　一重　裳階付　入母屋造　柿葺

足利尊氏が建立した安国寺は、大永年間の兵火のあと、天正年間(1573～91)、戦国期毛利家の政治・外交僧として活躍した恵瓊(えけい)が住職の時復興され、この頃かって大内義隆が山口に建立した建物を移築したものが現在の金堂である。

正面一間通りを吹き放しとする意匠や、柱筋からはずして大虹梁や大瓶束によって構成される構架法など、優れた計画による建物で、現存する禅宗様では最大の建築であり、現在では全く残っていない往時の鎌倉や京都の五山仏殿をしのばせる唯一の遺構である。

金堂内部

楼門(重文)

広島市東区牛田新町3-4-9　　082(221)6923　アストラムライン不動院前下車徒歩すぐ

境内自由